

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・来客数は増加傾向にある。理由としては前年は高い気温により本土でプレイしていたプレイヤーが戻ってきたことが挙げられる。また、基本的にプレー代に対するクレームが無い。売上としては結構良い傾向にある。
		その他のサービス[レンタカー]（営業担当）	来客数の動き	・稼働件数が前年同月比で103%に増加している。入域観光客数の伸びに比例して稼働件数も伸びている。
	変わらない	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・パンの売上が前年を超えるなど、価格値上げによる部門レベルへの好転は見られるが、売上全体の底上げにはつながっていない。客の購買意欲が低い状況が続いているためである。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今年の1月は暑さのためか冬物が良い状況ではない。しかし、春物は例年と変わりがない。
		観光型ホテル（商品企画担当）	販売量の動き	・稼働状況は、11月からほぼ前年並みで推移している。
		観光型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・修学旅行の人数は減少したがスポーツキャンプが前年を上回り、売上をカバーしている。
	やや悪く なっている	観光名所（職員）	来客数の動き	・施設利用者数は、3か月前の平成19年10月は前年同月比で108%である。今月は1月27日現在で108.4%と前年同月と同程度の伸びとなっている。平成19年10月以降、沖縄観光は弱含みの状況で施設利用者数も伸び悩んでいる。1月の入域観光客数も前年並みを維持するか少し上回るくらいで、それほど大きい伸びはないものと思われる。来園者は、一般団体、家族等が中心である。
		一般小売店[衣料品・雑貨]（経営者）	販売量の動き	・売上が前年同月比で75%となかなか上がらない。来客数も前年同月比約90%と減少傾向にある。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・時間帯によっては客が集中するが、客が途切れて暇になることもある。客単価が前年同月比で良いためか、売上の確保はできている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・各商品の値上がりが出始め、買い控えが進んでいる。買上点数・単価等にマイナスが出始めている。
		家電量販店（従業員）	来客数の動き	・来客数がかかり落ち込んでいる。ここ数年来で最大の落ち込みである。当店だけでなく業界全体的に落ち込んでいる模様で、景気の冷え込みが懸念される。
		その他専門店[楽器]（経営者）	販売量の動き	・CD、レコード販売の売上の減少が続いている。民謡・沖縄関連・三線等の観光産業関連も同業者の増加と観光客のリピーターの増加で前年の売上から大幅な減少である。団塊の世代の観光客や修学旅行・海外の観光客が増えてくれれば現状維持につながる。
その他専門店[書籍]（店長）		単価の動き	・文具業界、書籍業界も石油高騰のあおりを受けて、売上の値上げをせざるを得ない状況になっている。真っ先に文具商品の値上げが決まり、徐々に書籍の単価も値上がりしていく。	
観光型ホテル（総支配人）		来客数の動き	・宿泊客数は競合ホテルの増加により限られたマーケットが分散されており、完全な週末型となっている。また個人型形態により1部屋当りの宿泊人数も2.1名で少人数化により客室売上も伸び悩む。	
通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・客足が悪く、売上が伸びない。		

	悪く なっている	百貨店（担当者）	販売量の動き	・初商いは過去最高の動員数となり好調にスタートする。成人式までは冬物セールは軒並み10～20%減少、客単価においても前年比で20%の低下となる。要因は中旬以降に前年より気温が2.7度上昇したことであり、冬物セールが不振である。また春物商品の入荷遅れも大きく影響し、異常なマイナスとなる。原油高騰等による不景気感、生活防衛感の高まりが衣料部門において顕著に表れている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が例年1月より20%減少している。12月を除けば、ここ半年、前年の来客数を越えた月が無い。週末は満席になるが、平日地元客の動きが全く無い。ここ1か月前ぐらいから、水曜日だけは、ノー残業デー実施のせいか週末並みの動きがあるが、カバーしきれない。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・荷主からのニーズはあるが、受注価格が抑えられ収益自体は伸び悩んでいる。
	やや悪く なっている			
	悪く なっている	建設業（経営者） 会計事務所（所長） コピーサービス業（代表者）	それ以外 それ以外 競争相手の様子	・改正建築基準法の影響で建築確認及び着工が遅れている。 ・ガソリン価格の高騰、サブプライムローン問題の影響を受けている。 ・1月は正月休みもあり1月15日ごろまでは仕事が少ない。また、年始回り等で仕事をする日が少ない。前年の同月より、競争激化を実感している。当社が市場の競争原理で売上を増加させるには、ハード（設備）がポイントである。夏には建設中の当社の工場が完成する。それまでは我慢である。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新規で沖縄営業所開設のスタッフ募集や既存ユーザーからの追加派遣依頼、4月以降の次年度用のスタッフ依頼など、派遣スタッフの依頼数が増えている。
	変わらない	学校〔専門学校〕（就職担当） 学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き 求人数の動き	・来年度用の求人票が届いているものの数的には特に増減も無く、また業界もIT関連に偏っており、他業界を含め全体が良いとはいえない。 ・県内企業経営者に景気の不透明感が広まっており、求人に対して慎重な見方が増えている。
	やや悪く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・2007年12月の常用求人数が1,790人で3か月前と比べて11.5%減少、前年比は11.5%減少している。新規求人数が2,260人で3か月前と比べて22.3%減少している。また、就職率が3か月前や前年と比べていずれも悪化している。
	悪く なっている	-	-	-